

第1編 序論

第1章 計画策定の趣旨

・平成23年(2011年)3月に「第4次津島市総合計画」を策定。将来像は「～人をはぐみ 想いをつなぐ～ ともにつくろう 住んでみたくなるまち 津島」

第2章 計画の構成と期間

・基本構想 目標年次は令和12年(2030年)度
・基本計画 目標年次は令和12年(2030年)度 5年後を目途に見直す
・実施計画 毎年度見直す

第3章 将来展望とまちづくりの視点

- (1) 少子高齢化・人口減少の進展
(2) 地域社会の構造変化
(3) 都市空間・インフラの変化
(4) 新技術やスマートシティによる産業・生活の変化
(5) 持続可能な社会の実現に向けた取組の推進
(6) 安全・安心を求める市民ニーズの一層の高まり

※SDGsの達成に向けた取組

第4章 本市の主要課題

- (1) 結婚・出産・子育て環境を充実させる
◆子育て世代の定住促進
◆子どもの教育の充実
◆家庭・地域・学校の連携強化
◆子育てに係る経済的負担の軽減
(2) 地域の稼ぐ力とまちの活力を高める
◆地域経済の活性化による雇用機会の創出
◆多様な働く場と若い人材の確保
◆地域資源の活用と魅力の発信
◆定住環境の魅力の向上
◆若い世代の地元回帰
(3) 安心して暮らすことができる環境を確保する
◆超高齢社会に対応した地域福祉体制の充実
◆防災・減災対策、危機管理体制の強化
◆コミュニティの機能強化
◆持続可能な環境の保全
◆人口減少に対応した都市構造への転換
(4) まちづくりの力を支える基盤を強化する
◆多様な主体間の連携強化
◆行政サービスの基盤整備の推進

第2編 基本構想

第1章 将来都市像

～未来につなぐ～

住んでよかったまち 津島

多様な人々がかかわり、一人ひとりが主人公となってまちづくりを進めることで、まちにかかわるすべての人の思いが形となり、共感できるまちをめざします。そして10年後、住んでよかったと実感することができるまちを未来につないでいきましょう。

第2章 まちづくりの目標

- (1) 子育てしやすいまち
(2) 若い人が魅力を感じるまち
(3) 安心して暮らせるまち

第3章 人口・都市構造のあり方

1 人口の将来展望

令和12年(2030年) 56,600人～59,500人

2 都市構造のあり方

- ① 暮らしやすい都市構造に向けたコンパクトシティの実現
② 交流を創出し発展性がある都市環境の形成
③ 活気溢れる産業を創出する環境の形成
④ 安全・安心で住み続けたい環境の形成

第3編 基本計画 3-1 総論

第1章 行財政運営の基本方針

- (1) 財政の状況
(2) 基本的な考え方
① 職員の人材育成と組織風土の改革
② 効果的な行財政運営
③ 協働による地域資源の有効活用
④ 施策効果を高める進行管理システムの確立

第2章 基本フレーム

令和12(2030)年
(1)人口 56,600～59,500人と設定
(2)世帯数 22,600～23,800世帯と設定
(3)年齢別人口
・今後も年少人口、生産年齢人口は減少
・老年人口は緩やかに増加

第3章 土地利用計画

・既存ストックを賢く活用しながら、多様な世代が暮らしやすいコンパクトな都市を形成していくことが重要
・都市と自然・農業が調和したバランスのとれた土地利用へと誘導を図り、暮らしやすいコンパクトシティの形成をめざす

第4章 重点戦略の推進

1 重点戦略

・庁内が横断的に連携して取り組む重点施策
・まち・ひと・しごと創生総合戦略の施策として位置付ける

2 分野横断型まちづくりの推進

■戦略1 子どもを産み育てやすい環境をつくる

- ① 切れ目のない出産・子育ての支援
② 子どもの「生きる力」を育む教育の充実
③ 地域で子どもを見守り育てる環境の充実
④ 子育てと両立できる生活の支援

■戦略2 まちの魅力高め、人の流れをつくる

- ① 地域産業の活性化
② 多様な働き方の実現
③ 駅周辺の活性化
④ 交通ネットワークの充実
⑤ 魅力の発信と関係・交流人口の拡大

■戦略3 支えあい、安心して暮らせる地域をつくる

- ① 医療・福祉サービス等の機能の確保
② 防災・減災対策の推進
③ 地域活動の活性化
④ 環境保全と持続可能な社会の形成

3 戦略の推進に向けて

- ① SDGsの実現に向けた取組の推進
② Society5.0の推進
③ 多様な地域の担い手の参画促進
④ 公民連携・パートナーシップの推進
⑤ 安定した財政基盤の確立

4 まち・ひと・しごと創生総合戦略

・重点戦略の推進により、地方創生がめざす目標の実現を図る

第5章 施策体系

将来都市像
～未来につなぐ～
住んでよかったまち 津島

まちづくりの目標

- (1) 子育てしやすいまち
(2) 若い人が魅力を感じるまち
(3) 安心して暮らせるまち

- (1) 保健・医療・福祉
(2) 教育・文化・人権
(3) 産業・環境・市民生活
(4) 交通・都市基盤・水環境
(5) 協働・行財政運営

第3編 基本計画 3-2 分野別計画

第1章 保健・医療・福祉

- 1. 健康づくり
2. 地域医療・市民病院
3. 地域福祉・セーフティネット
4. 国民健康保険・福祉医療・国民年金
5. 子育て支援
6. 高齢者福祉
7. 障がい者福祉

第2章 産業・環境・市民生活

- 1. 農業
2. 商工業・雇用・消費者対策
3. 観光・交流
4. 環境保全
5. 消防・救急
6. 防災・危機管理
7. 防犯・交通安全

第3章 教育・文化・人権

- 1. 学校教育
2. 社会教育
3. 歴史・文化・芸術
4. 人権
5. 多文化共生・国際交流

第4章 交通・都市基盤・水環境

- 1. 都市計画
2. 公共交通
3. 道路
4. 建築・住宅
5. 公園・緑地
6. 治水・水害対策
7. 上水道
8. 下水道

第5章 協働・行財政運営

- 1. 市民活動・コミュニティ
2. 財政運営
3. 行政経営
4. 地域情報化
5. 情報・魅力の発信

# 第5次津島市総合計画の体系

## 本市の主要課題

### (1) 結婚・出産・子育て環境を充実させる

- ◆子育て世代の定住促進
- ◆子どもの教育の充実
- ◆家庭・地域・学校の連携強化
- ◆子育てに係る経済的負担の軽減

### (2) 地域の稼ぐ力とまちの活力を高める

- ◆地域経済の活性化による雇用機会の創出
- ◆多様な働く場と若い人材の確保
- ◆地域資源の活用と魅力の発信
- ◆定住環境の魅力の向上
- ◆若い世代の地元回帰

### (3) 安心して暮らすことができる環境を確保する

- ◆超高齢社会に対応した地域福祉体制の充実
- ◆防災・減災対策、危機管理体制の強化
- ◆コミュニティの機能強化
- ◆持続可能な環境の保全
- ◆人口減少に対応した都市構造への転換

### (4) まちづくりの力を支える基盤を強化する

- ◆多様な主体間の連携強化
- ◆行政サービスの基盤整備の推進

## 将来都市像

住んでよかったまち津島  
未来につなぐ

## まちづくりの目標

子育てしやすいまち

若い人が魅力を感じるまち

安心して暮らせるまち

## 重点戦略 (まち・ひと・しごと創生総合戦略)

### 戦略1 子どもを産み育てやすい環境をつくる

- ① 切れ目のない出産・子育ての支援
- ② 子どもの「生きる力」を育む教育の充実
- ③ 地域で子どもを見守り育てる環境の充実
- ④ 子育てと両立できる生活の支援

### 戦略2 まちの魅力高め、人の流れをつくる

- ① 地域産業の活性化
- ② 多様な働き方の実現
- ③ 駅周辺の活性化
- ④ 交通ネットワークの充実
- ⑤ 魅力の発信と関係・交流人口の拡大

### 戦略3 支えあい、安心して暮らせる地域をつくる

- ① 医療・福祉サービス等の機能の確保
- ② 防災・減災対策の推進
- ③ 地域活動の活性化
- ④ 環境保全と持続可能な社会の形成

### 戦略の推進に向けて

- ① SDGsの実現に向けた取組の推進
- ② Society5.0の推進
- ③ 多様な地域の担い手の参画促進
- ④ 公民連携・パートナーシップの推進
- ⑤ 安定した財政基盤の確立

## 基本計画

### 第1章 保健・医療・福祉

1. 健康づくり
2. 地域医療・市民病院
3. 地域福祉・セーフティネット
4. 国民健康保険・福祉医療・国民年金
5. 子育て支援
6. 高齢者福祉
7. 障がい者福祉

### 第2章 教育・文化・人権

1. 学校教育
2. 社会教育
3. 歴史・文化・芸術
4. 人権
5. 多文化共生・国際交流

### 第3章 産業・環境・市民生活

1. 農業
2. 商工業・雇用・消費者対策
3. 観光・交流
4. 環境保全
5. 消防・救急
6. 防災・危機管理
7. 防犯・交通安全

### 第4章 交通・都市基盤・水環境

1. 都市計画
2. 公共交通
3. 道路
4. 建築・住宅
5. 公園・緑地
6. 治水・水害対策
7. 上水道
8. 下水道

### 第5章 協働・行財政運営

1. 市民活動・コミュニティ
2. 財政運営
3. 行政経営
4. 地域情報化
5. 情報・魅力の発信